

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	西澤悦郎
	全体計画						経費区分		-		内線	3118
事務事業名	9879 災害復旧支援事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	03021300 防災体制の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費										
	事業	970000 災害復旧支援事業										
事業目的						事業概要・効果						
災害時応援協定先等で災害発生した場合の職員派遣とし、復旧・復興支援とする。						東日本大震災は、広範囲に甚大な被害を与えた。塩竈市の災害の復旧・復興は概ね達成されたようであることから、災害時応援協定先等で災害発生した場合の人的支援のみとする。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
塩竈市への職員派遣 ・事務職1名（1年間） 義援物資の発送 塩竈市の仮設住宅が継続されていれば発送予定。	①塩竈市への職員派遣 ・事務職1名（1年間） ②義援物資の発送（塩竈市ヘリンゴ）
平成29年度 実績	平成30年度 実績
①義援物資の購入・発送 ②被災地復旧視察訪問	①災害派遣職員の旅費
平成31年度 予定	令和2年度 予定
①災害派遣職員の旅費	①災害派遣職員の旅費

指標名	通年で1名の中長期職員派遣				
算式	職員派遣数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績		1		
指標選定の理由	職員派遣により被災地の復興に寄与しているため				
最終年度 目標の根拠	通年で1名の中長期職員派遣				
指標名	義援物資の発送				
算式	義援物資の購入金額				単位 円
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		113	0
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		113	0
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	715.0	0.0
	嘱託職員	287.5	287.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,002.5	287.5
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,115.5	287.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	113	チームながのの一員として広島県尾道市へ人的支援派遣

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時、チーム長野による災害地への復旧・復興支援 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時によるもの 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害が各地で発生しており、支援が必要となっている。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧支援事業については、チームながのによる職員派遣の旅費を計上する必要がある。（毎年のように自然災害が全国で発生している。チームながのによる支援が行われる）

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>東日本大震災による義援物資の発送が終了し本事業を廃止したが、自然災害あが発生が全国であり、チームながのによる支援が生じるための検討が必要</p>		<p>自然災害の発生に伴い、チームながのによる支援するため派遣体制等を検討する必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	